

令和5年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

評価実施者

縫部 逸都 年齢 66 才 議員経験年数 1 年

評価日

令和6年4月8日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
1. 議員活動の原則 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	言論を尊重し、自らの発言に責任を持って発言できたと思う。	今後も自らの発言に責任を持って意見を述べたい。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	議員研究会及び議会専門誌などにより他議会及び自治体等の情報収集を行い、自己の知識や能力を高めるよう努めた。	まだまだ勉強が必要だと思う。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	町民からの要望に対し、すぐ現場に行き確認し、町民の声を役場に伝えるようにした。	引き続き行っていきたい。
2. 自由討議の拡大 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	○	議会改革についてはしっかり討議し、合意形成に努めた。	今後も議論をつくっていききたい。
3. 議会費および政務活動費 政務活動費の用途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	○	政務活動費による先進地視察、調査研究、また必要な物品を購入し有効に使い、証書類を添付し議長に報告書を提出した。	今後も有効に使用したい。
4. 選挙公約の評価	△	選挙公約は「みんなに優しい暮らしやすいまちづくり」であり、町民の要望に対して、即時行動で対応し解決に努めたが、今後も、引き続き公約の実現に向けて行動していききたい。	引き続き対応していくことが大切ではあるが、一般質問等で、生活に密着した案件をもっと取り上げていききたい。